

かんたん ドアリモ

浴室ドア

折戸

内付枠 (カバー枠)

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「かんたん ドアリモ 浴室ドア 折戸 内付枠(カバー枠)」の施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。
- 商品購入前の取付可否、注意事項、商品手配における事前確認などの説明については、カタログ内に記載の「現場調査マニュアル」を参照してください。

本書内の表記

- 商品の施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の施工を行ってください。

警告 / 注意 / お願い

表記	意味
警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
お願い	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

その他の表記

表記	意味
注意	作業上の注意していただきたい内容を示しています。
Check	確認していただきたい内容を示しています。
シーリング	必ずシーリングを行っていただきたい箇所を示しています。

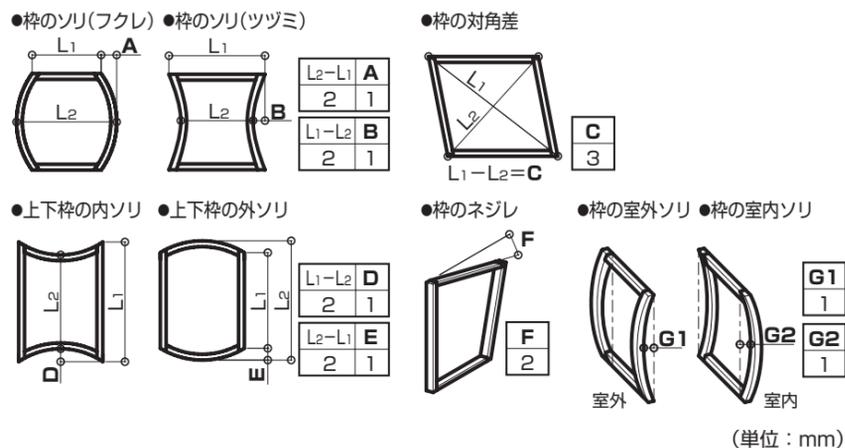
安全にお取り扱いいただくために

注意

- 施工は、所定のねじを使用し、最後まで締め付けてください。締め付け不良は、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本説明書記載以外の組み立て、加工、施工など、改造を行わないでください。性能に影響を及ぼすおそれがあります。
- 商品周辺の防水処理は必ず行ってください。
- 取り付け開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
- 取り付け開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- シーリング材は防カビ入りを使用してください。
- 電動ドライバー、エアドライバーを使用する際は、締め付け過ぎると、ねじが空回りすおそれがあります。
- 電動ドライバー・エアドライバーを使用する際は、適正トルクでねじ留めしてください。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm)

お願い

- 設置完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 障子に照明などの熱源を近づけないでください。面材や部品などが変形する場合があります。
- 枠取り付け精度について
枠取り付け精度が下記寸法以下になっていることを確認してください。下記寸法を超えると、障子の脱落のおそれや水密性が悪くなります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、保護具（保護帽、安全带、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液(1~2%の水溶液)を使用してください。酸・アルカリ・塩素系の洗剤液を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。

ユニット構成

ユニット	仕様	備考
内付枠 (カバー枠)	下枠アングル有り	本書にて施工説明の記載
	アングル無し	
オプション	アングルユニット	各オプションユニット同梱の説明書に、組み立て・施工説明の記載
	内額縁ユニット	
	見切材ユニット	
	外額縁ユニット	

同梱一覧

番号	①	②	③	④
姿 図				
品 名	引手ホルダーセット	引手	引手	皿タッピンねじ (φ4×16)
品 番	2K-37642	2K-81956	2K-34737	EF-4016D6
個 数	1	1	1	8
備 考	浴室側	浴室側	脱衣室側	たて枠固定用

番号	⑤	⑥
姿 図		
品 名	皿タッピンねじ (φ4×25)	皿タッピンねじ (φ4×6)
品 番	EF-4025D7	EF-4006D6
個 数	3	3
備 考	上枠固定用	下枠アングル固定用

施工に使用する工具

巻き尺	直尺	アルミスタッフ ※1	差し金	下げ振り
水準器	ドライバー(手回し)	電動ドリル	ドリル刃	ポンチ
シーリングガン	ヘラ	ペンチ	カッター	アクリルカッター
はさみ	金ノコ	ディスクグラインダー	切断機	ヤスリ
振動ドリル	かなづち・木づち	当て木	フレキシブルビット ※2	セーバーソー(推奨)

※1：一人作業や内法測定に適しています。
 ※2：納まりによって狭い場所にねじを打つ必要がある場合に使用します。

施工に使用する別途手配品



- 既設枠との取り合いにより、同梱のねじ長さがあわない場合は、別途手配してください。
- 新築または枠ごと取りはずし交換する場合の釘・木ねじは、別途手配してください。

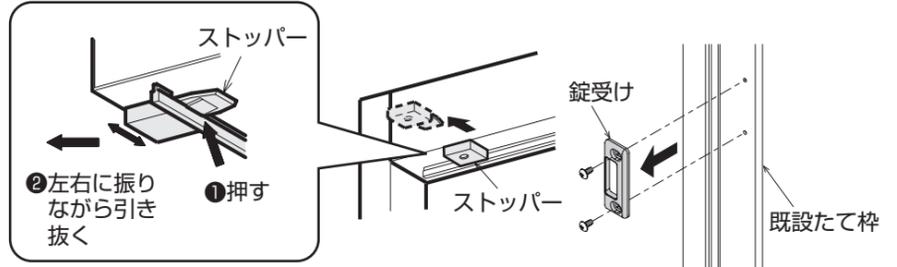
スペーサー(銅木)	施工調整スペーサー(平板)	シーリング材	気密・防水テープ	バックアップ材
	YS 2K-29658(厚さ0.5) YS 2K-29621(厚さ1) YS 2K-29622(厚さ3) YS 2K-29623(厚さ5)	防カビ入り		
マスキングテープ	プライマー	調整ライナー	施工調整スペーサー	
		YS BS-PUH-41(厚さ1:ホワイト) YK BS-PUH-42(厚さ2:ブラック) YW BS-PUH-43(厚さ3:ホワイト) YK BS-PUH-44(厚さ5:ブラック)	YS 2K-30389(厚さ1.5-6枚束)	

既設障子の取りはずし(カバー工法の場合)

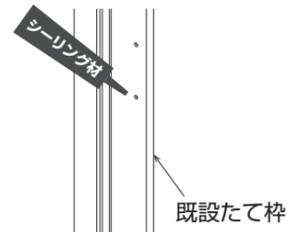
1. 既設の障子を取りはずしてください。



2. 既設枠からストッパー、錠受け、丁番をはずしてください。



3. 部品を取りはずした後、下穴にシーリング材を充てんしてください。



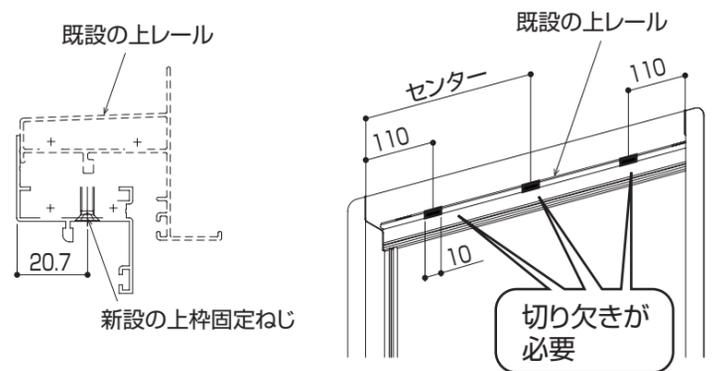
4. 既設枠に付いている水密材をはずしてください。



- 水密材の端部にある、かしめや接着剤に切り込みを入れ、引き抜くと取りやすくなります。



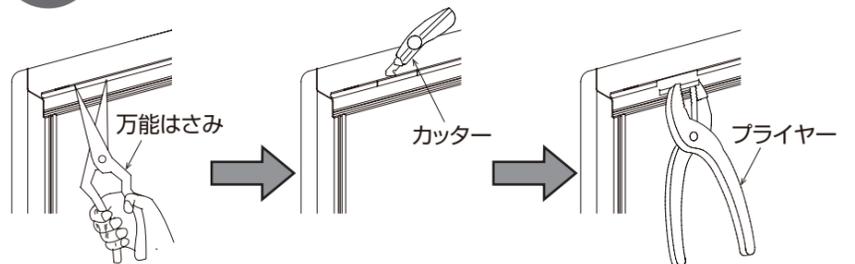
5. 新設の上枠固定ねじと既設の上レールが同じ位置の場合は、ねじが固定される部分の上レールを切り欠いてください。(上レールが同じ位置でない場合は作業不要です)



(単位：mm)



- アクリルカッターや万能はさみ、プライヤーで切り取り可能です。

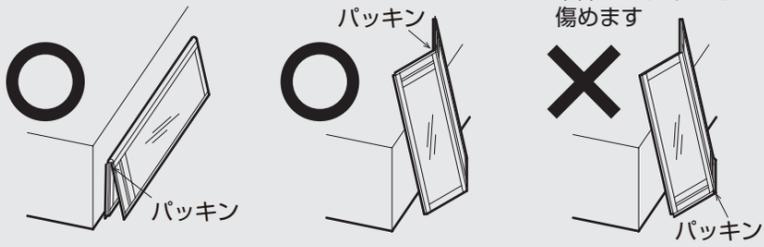


6. 既設枠を中性洗剤(1~2%の水溶液)で清掃してください。

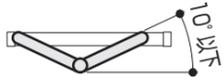
新設障子の取りはずし（カバー工法の場合）



・ドアの下部にはパッキンが付いています。パッキンの損傷防止のため、はずしたドアは、横置きまたはパッキンが上になるように、たて置きしてください。



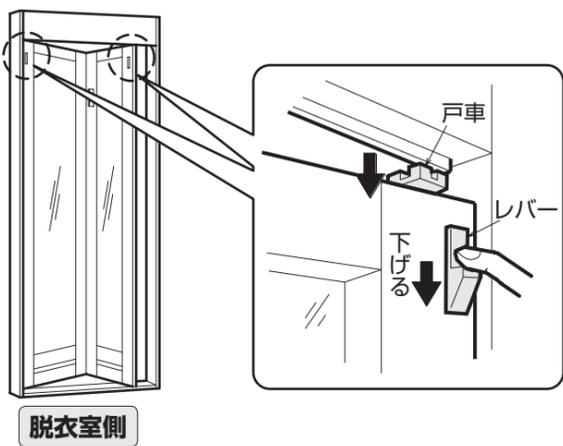
1. 障子を10°以下に開いた状態にしてください。



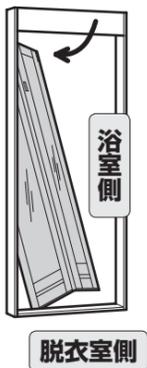
2. 脱衣室側より右上部のレバーを下げ、戸車を枠からはずしてください。



戸車をはずすと障子が倒れてきますので、障子を支えながら行ってください。



3. 既設の障子を持ちながら、浴室側へ倒して取りはずしてください。

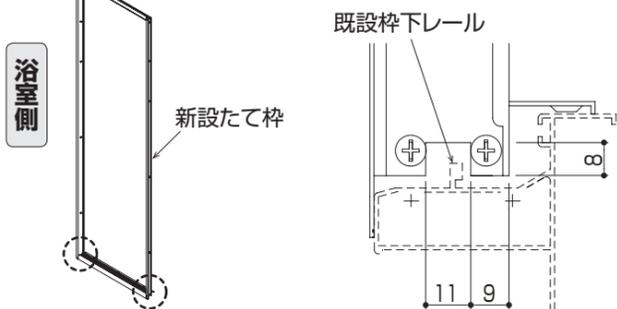


枠の加工（カバー工法の場合）

既設枠の下レールと新設枠が干渉する場合

1. 既設枠の下レール位置を測定してください。
2. 新設たて枠下部の両端に、既設の下枠レールを逃がすための切り欠きを入れてください。
新設枠に切り欠きをしない場合は、既設枠の下レールの両端部を10mm程度折り取ってください。

【たて枠下部の切り欠き可能な寸法】

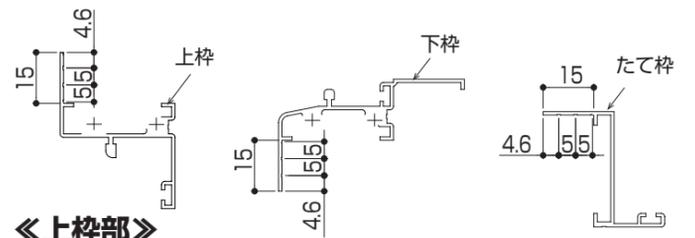


(単位：mm)

新設枠が床、天井、壁などと干渉する場合

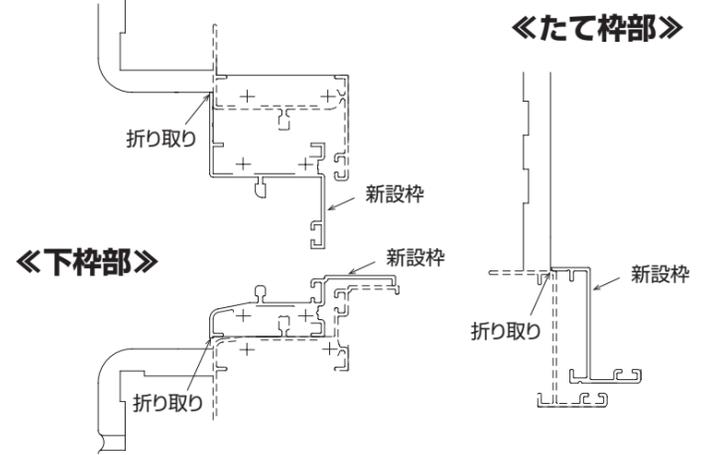
1. ヒレを折り取ってください。

【折り取り溝位置】



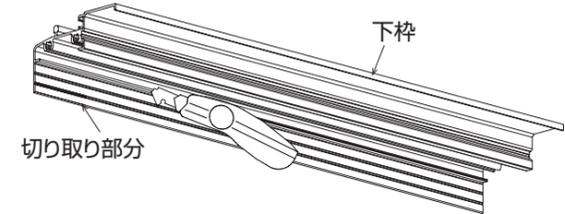
《上枠部》

《たて枠部》



(単位：mm)

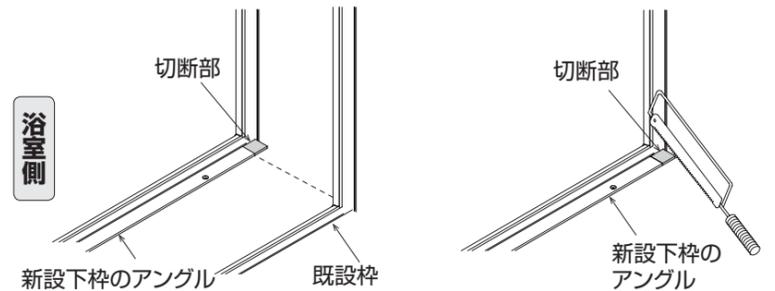
2. 折り取り溝に、アクリルカッターなどで切れ目を入れ、ペンチなどで折り取ってください。



3. 鋭利な部分が残らないように切断小口をヤスリなどで仕上げてください。

下枠アングル有りの場合

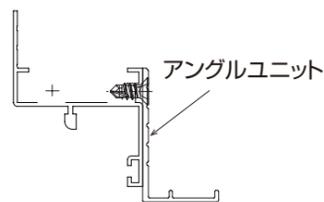
1. 既設枠の開口部にあわせて、下枠のアングル両端を切除してください。



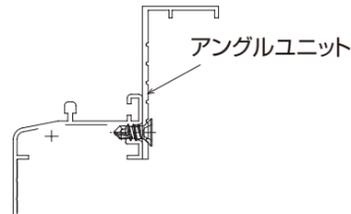
アングル無しの場合

1. アングルユニットを取り付けてください。
アングルユニットの取り付けは、アングルユニットに同梱の施工説明書を参照してください。

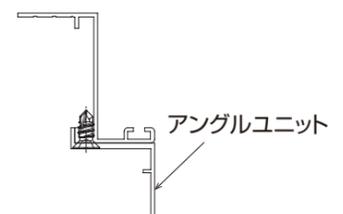
《上枠部》



《下枠部》

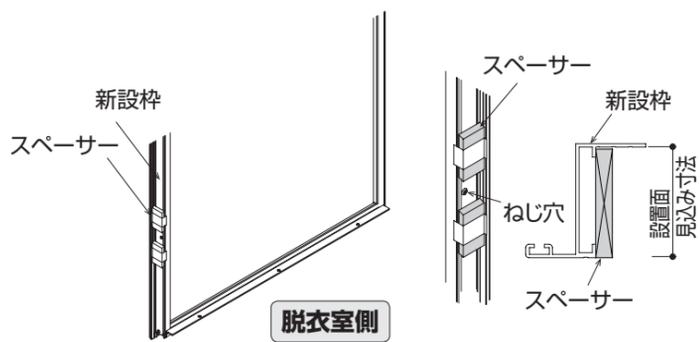


《たて枠部》

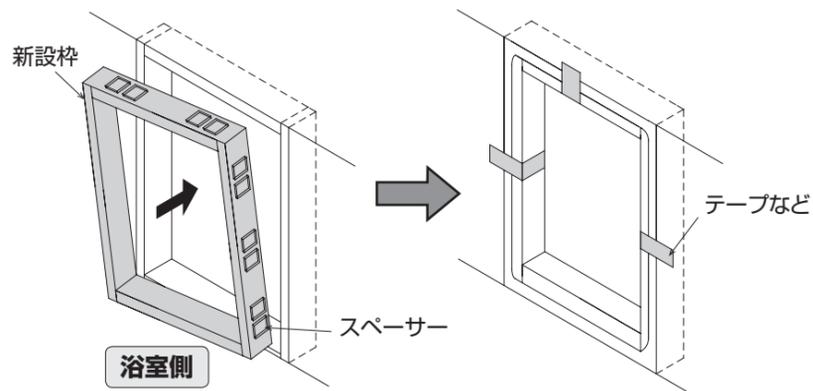


枠の仮固定（カバー工法の場合）

1. 新設枠の設置面見込み寸法と同じ大きさにスペーサーをカットし、枠にスペーサーを貼り付けてください。

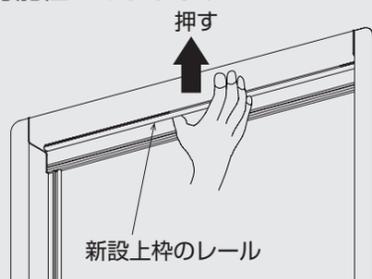


2. 新設枠を設置し、テープなどで固定してください。

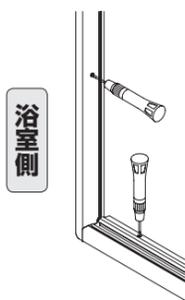


3. 設置した新設枠の取り付け寸法が、枠の取り付け精度の寸法（-2-参照）になるようスペーサーで調整してください。

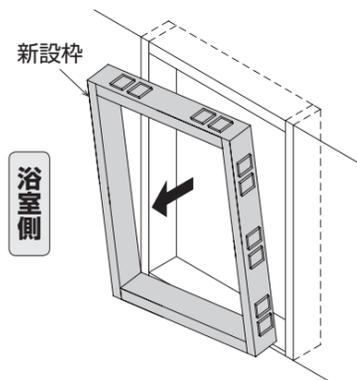
- ご注意**
- 上枠のレール部分が、手で押してもたわまないことを確認してください。
- 障子を開閉した際、上ラッチが枠を押し上げてうまく引かからなくなる可能性があります。



4. 新設枠のねじ穴位置から既設枠へけがきを入れてください。



5. 枠をはずしてください。



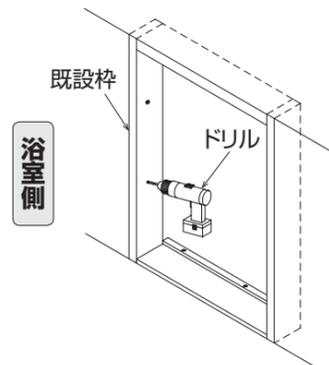
枠の取り付け（カバー工法の場合）

お願い

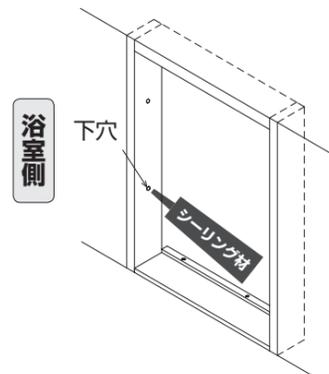
- AT材がキズ付くおそれがありますので一旦取りはずしてから下穴加工してください。

1. 既設枠へけがいた位置に、ドリルでφ3~3.4の下穴をあけてください。

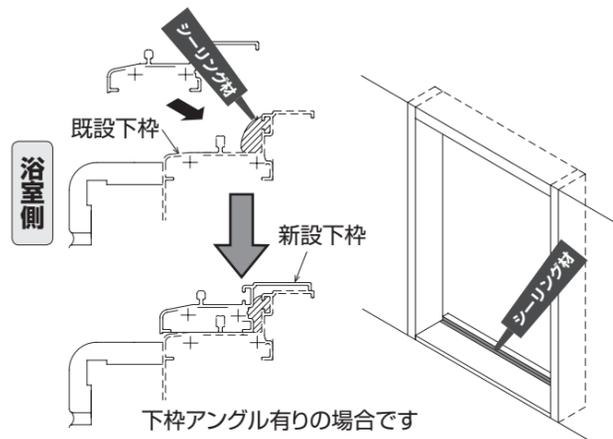
- ご注意**
- 穴が躯体まで貫通しないようにしてください。漏水のおそれがあります。



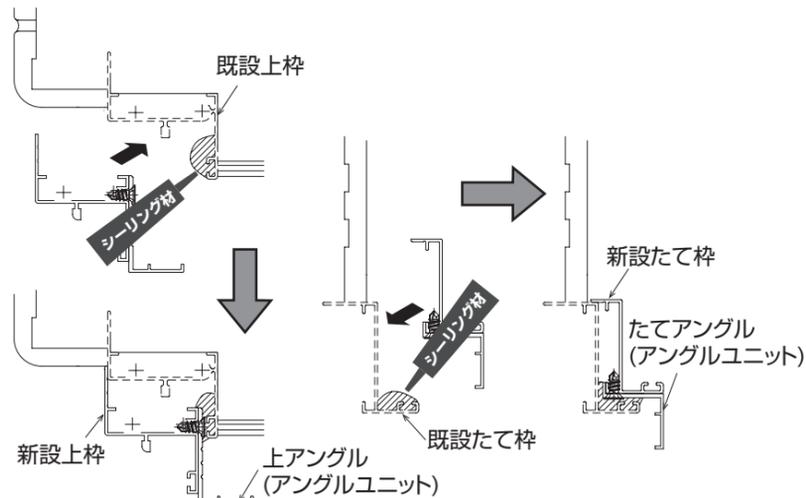
2. 下穴にシーリングをしてください。



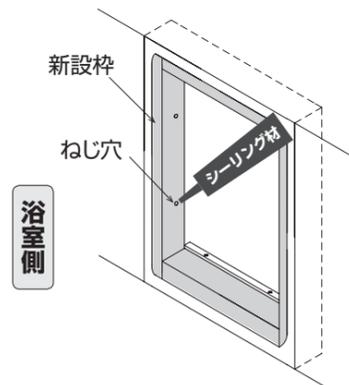
3. 既設下枠部にシーリング材を充てんしてください。新設枠に密着するように、十分な量で充てんしてください。



4. アングルユニットを使用する場合は、既設上枠、既設たて枠にも十分な量でシーリング材を充てんしてください。



5. 新設枠を設置し、ねじ穴にシーリングをしてください。

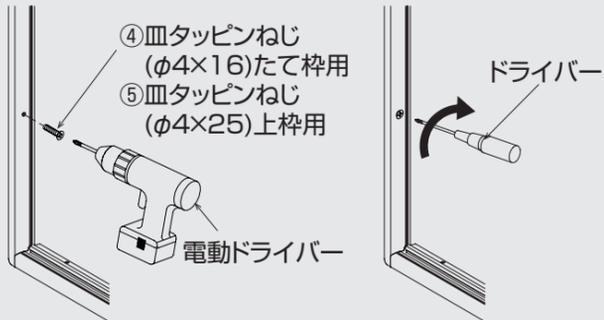


枠の取り付け（カバー工法の場合）（つづき）

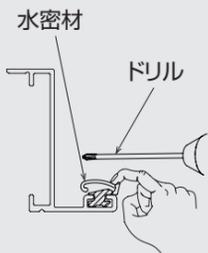
6. 新設枠を固定してください。



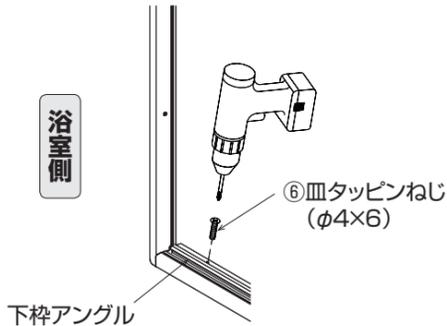
- 枠の見付け部の本固定は、必ずシーリングを併用してねじで締め付けてください。
ねじで締め付け後、はみ出したシーリング材はきれいに拭き取ってください。
- 電動ドライバーで最後まで締めないでください。枠がへこまないように、最後はドライバーで手回しで締めてください。



- ドリルと水密材が接触しないように、指で水密材を押えながらねじで固定してください。



7. 下枠アングルを固定してください。

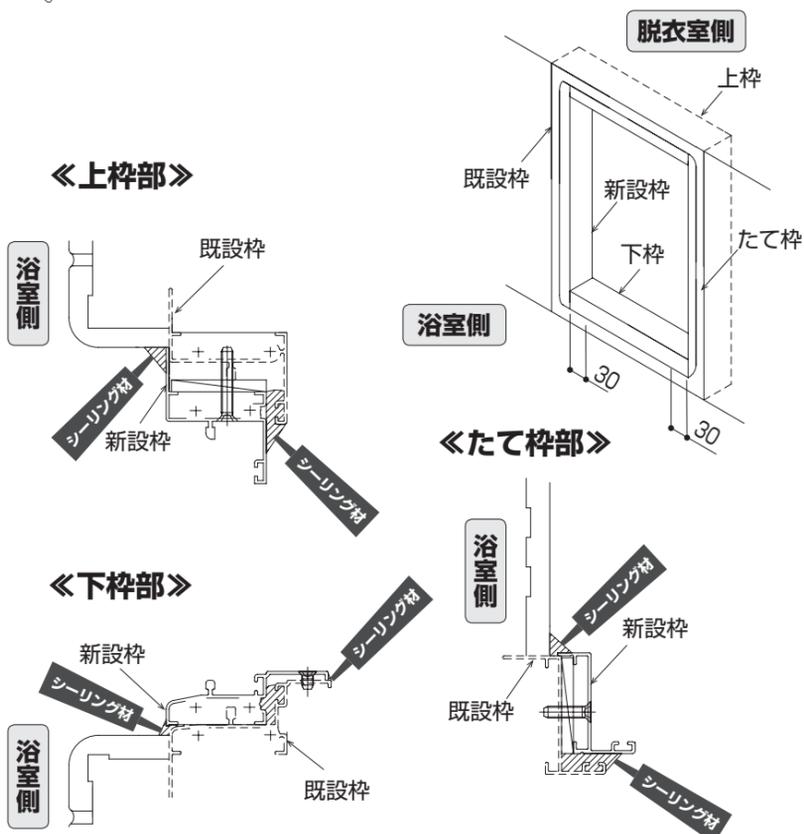


シーリング（カバー工法の場合）

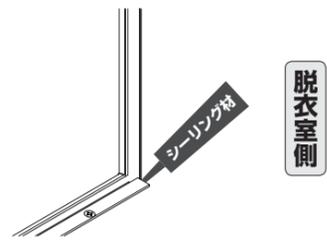
1. 枠のねじれ、対角ずれ、ハラミ、つづみのないことを確認してください。（-2-参照）
2. 浴室側の既設枠と新設枠の間、脱衣室側の既設枠と新設枠の間をシーリングしてください。



- 排水のため、下枠両端部30mmはシーリングをしないでください。



3. 下枠アングルの小口が出る場合は、小口にシーリングをしてください。



額縁の取り付け（カバー工法の場合）

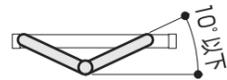
1. 内額縁、見切材、外額縁を新設枠に取り付けてください。
内額縁、見切材、外額縁のユニットの取り付けは、各ユニットに同梱された施工説明書を参照してください。

枠の取り付け（新築または枠ごと取りはずし交換する場合）



- 新築または枠ごと取りはずし交換する場合は、アングル有りの仕様の場合のみになります。

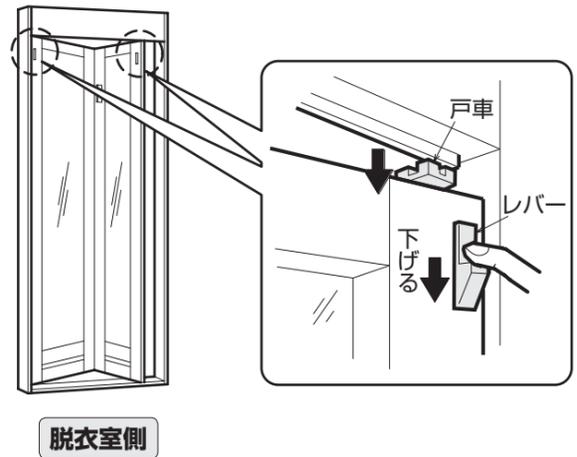
1. 障子を10°以下に開いた状態にしてください。



2. 脱衣室側より左右上部のレバーを下げ、戸車を枠から取りはずしてください。



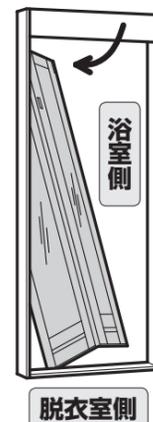
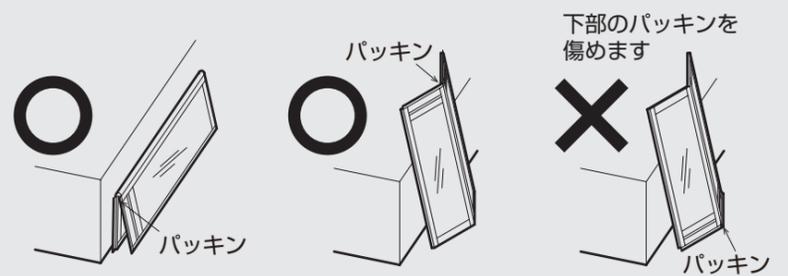
- 戸車をはずすと障子が倒れてきますので、障子を支えながら行ってください。



3. 新設の障子を持ちながら、浴室側へ倒して取りはずしてください。



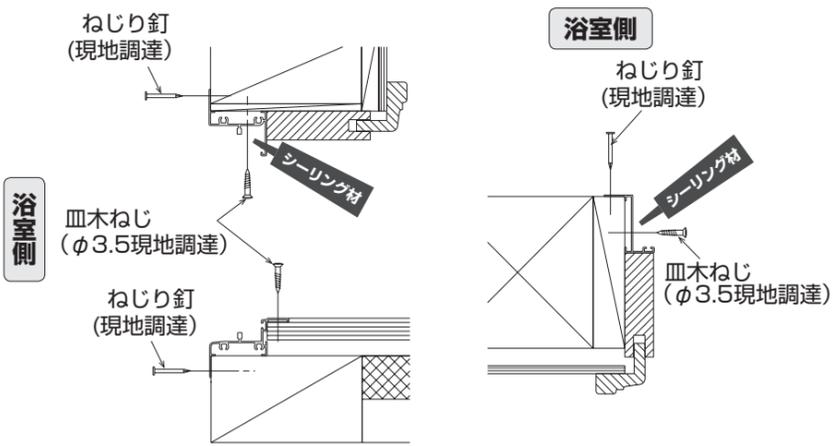
- ドアの下部にはパッキンが付いています。
パッキンの損傷防止のため、はずしたドアは、横置きまたはパッキンが上になるように、たて置きしてください。



4. 開口部のねじれ、対角ずれ、ハラミ、つづみのないことを確認してください。（-2-参照）

5. 枠の見込み部本固定は、必ずシーリングを併用してねじ留めしてください。枠外部を釘など（現地調達）で固定し、枠内部を皿木ねじ（現地調達）でしっかり固定してください。

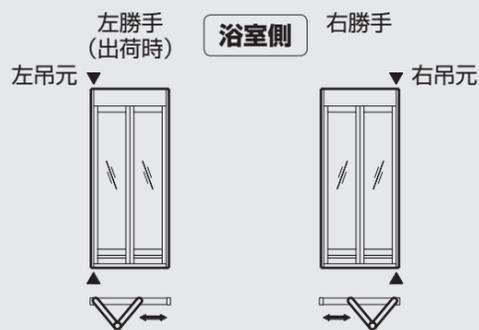
Check 躯体側の防水処理は必ず行ってください。



6. ねじ留め後、はみ出したシーリング材をきれいに拭き取ってください。

障子の吊元交換（右吊元で使用する場合）

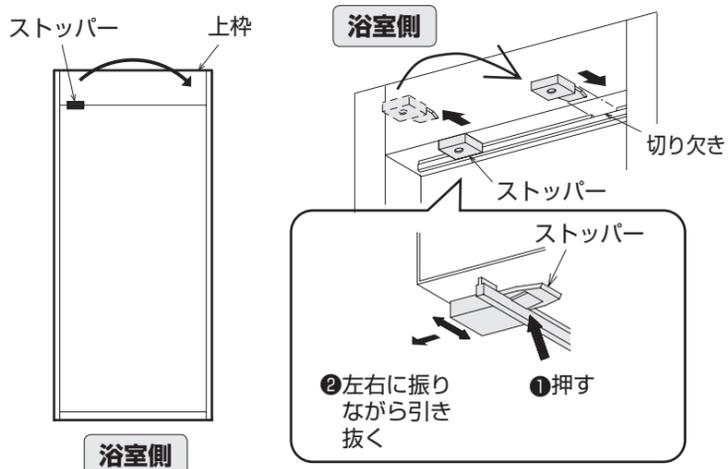
Check 商品出荷時には、浴室側から見て障子は左吊元になっています。右吊元で使用する場合は、吊元交換作業が必要となります。



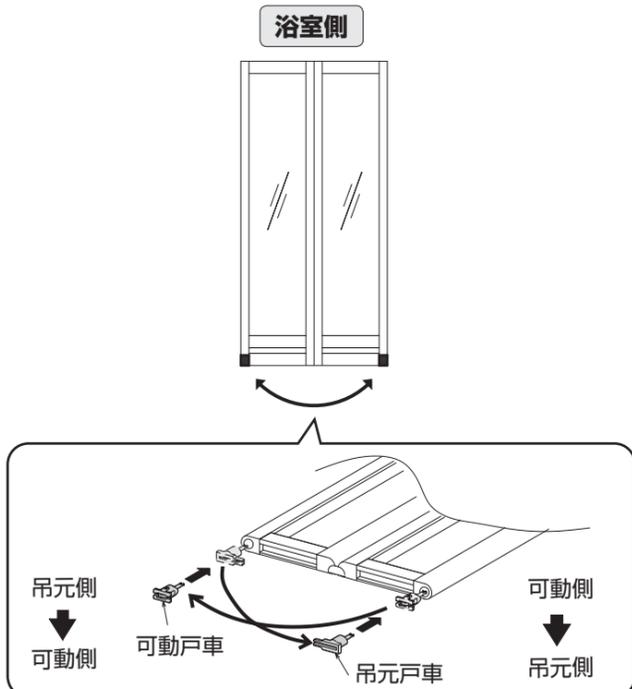
1. 上枠のストッパーを取りはずし、反対側の切り欠きに取り付けてください。

注意

・ストッパーが取り付けられていることを確認してください。取り付けがないと障子がはずれるおそれがあります。

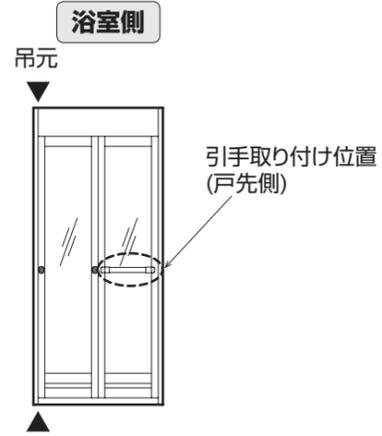


2. 障子下部の戸車を引き抜き、吊元側と可動側の差し替えをしてください。

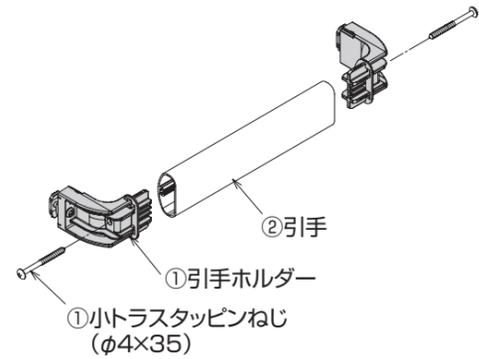


浴室側引手の取り付け

1. 引手の勝手を確認し、戸先側に取り付けてください。

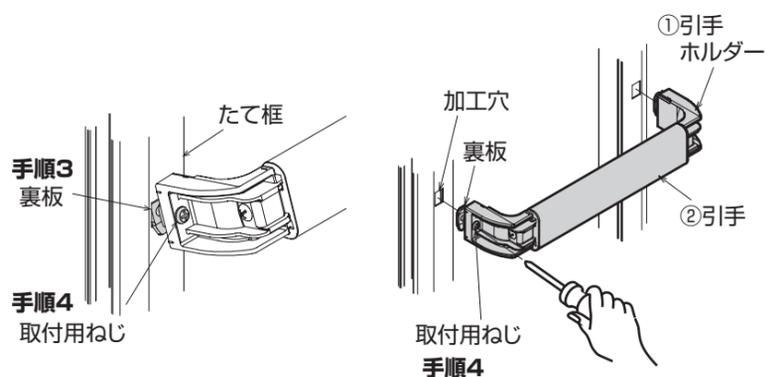


2. 引手と引手ホルダーをねじで固定してください。

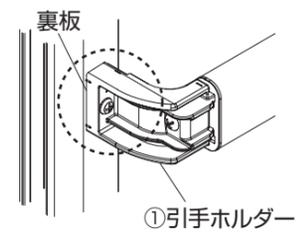


3. 裏板をたて枠の加工穴に入れてください。

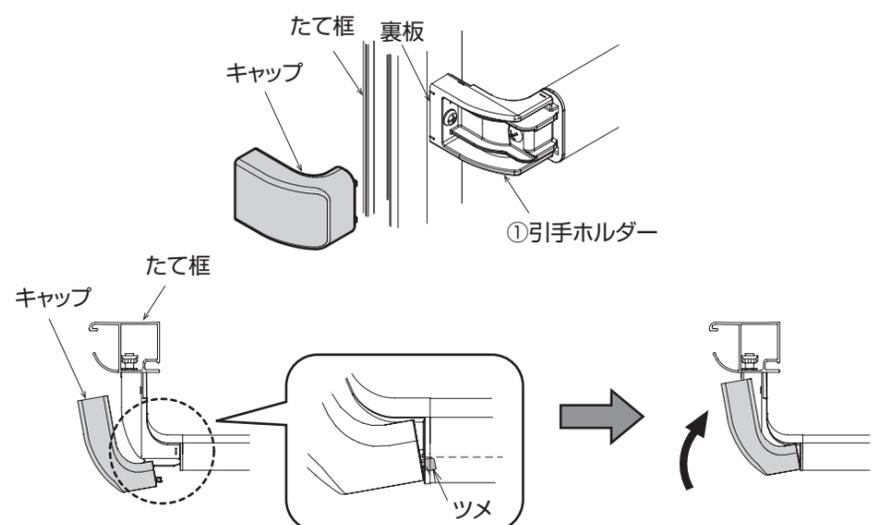
4. 引手全体を軽く手前に引きながら、取付用ねじをまわしてください。



5. キャップの取り付け前に、ホルダーと裏板にすき間やガタつきがないことを確認してください。

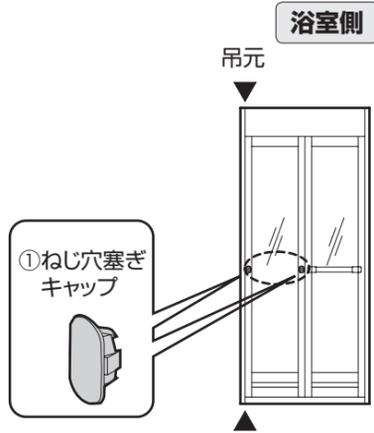


6. キャップのツメをホルダーに挿入し、ひっかけた状態でキャップのたて枠側を押し込んでください。



浴室側引手の取り付け (つづき)

7. 吊元側のたて枠に、穴塞ぎキャップを取り付けてください

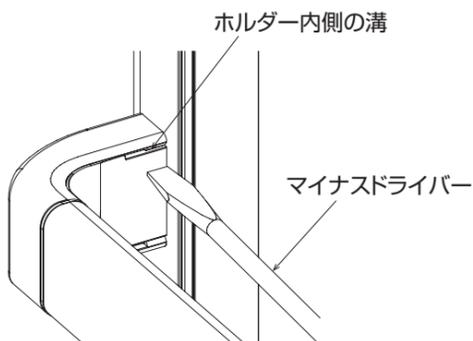


浴室側引手の取り付け後に、キャップを取りはずす場合

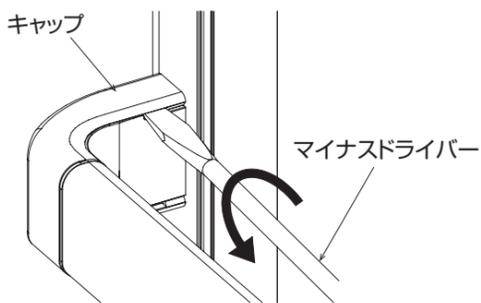
Check • マイナスドライバーなどの先端にウエスなどを巻き、部品にキズを付けないようにしてください。



1. 引手ホルダーの内側の溝に、マイナスドライバーなどを差し込んでください。



2. キャップの根元側を広げるように、マイナスドライバーなどを回転させてください。



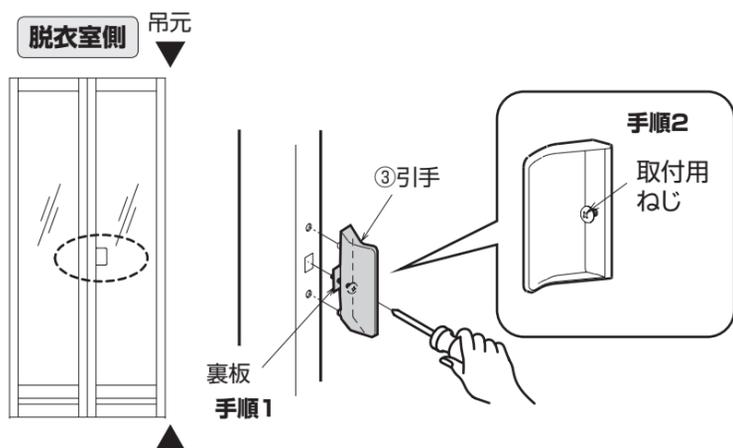
3. 同様に下側もはずしてください。

脱衣室側引手の取り付け



1. 浴室側の引手と同様に、裏板を右側のたて中框の加工穴に入れてください。

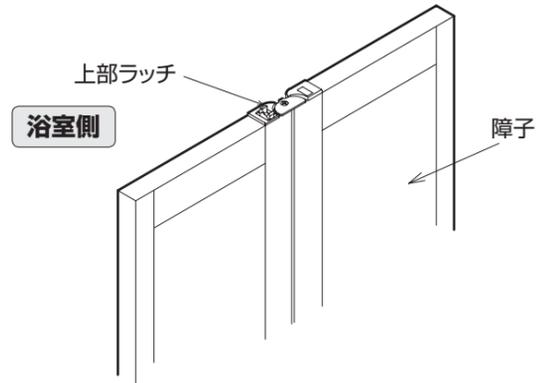
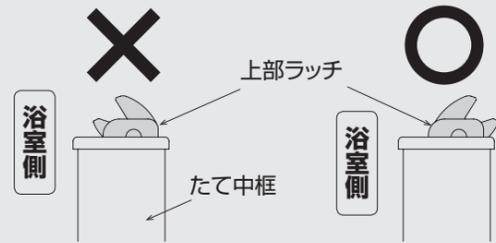
2. 引手全体を軽く手前に引きながら取付用ねじをまわしてください



障子の吊込み

1. 上部ラッチの向きを確認し、上部ラッチ (ツメ部分) が浴室側へ向いている場合は、脱衣室側へ向きを直してください。

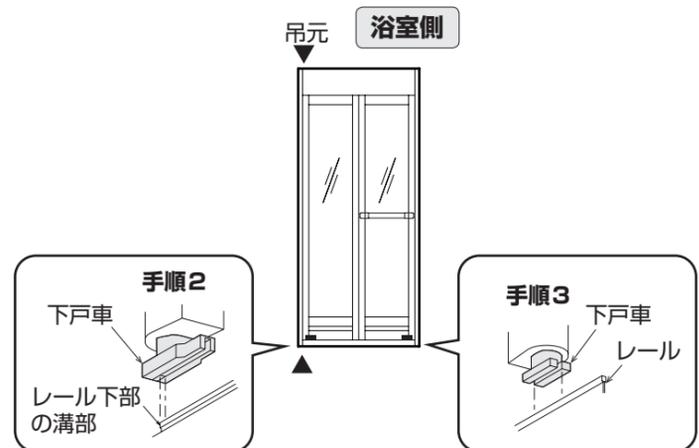
ご注意 • 上部ラッチ (ツメ部分) が浴室側へ向いたまま使用すると、障子が閉まりきらない場合があります。



2. 吊元側の下戸車をレール下部の溝部にはめ込み、下戸車が確実にレールにかかっている事を確認してください。

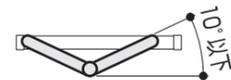
3. 可動側の下戸車をレールにはめ込んでください。

ご注意 • 障子の吊込みは、上下の戸車を正しくセットしてください。障子はずれるおそれがあります。



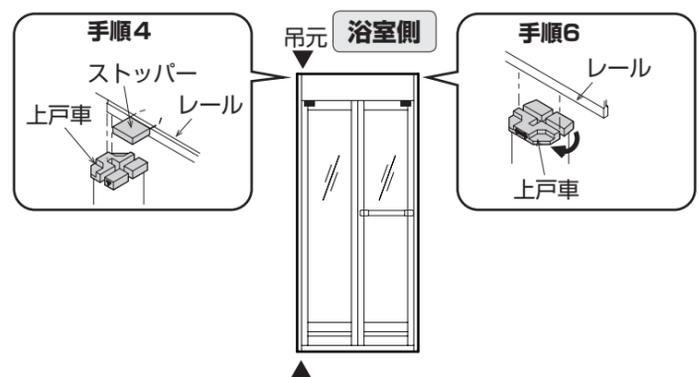
4. 吊元側の上戸車をレール端部のストッパー内にはめ込み、下戸車が確実にレールにかかっていることを確認してください。

5. 障子を10°以下に開いた状態にしてください。



6. 可動側の上戸車を回転させ、レールにはめ込んでください

ご注意 • 上戸車を90°回転させることで、吊元側と可動側の使い分けができます。はめ込む際には向きに注意してください。



7. 浴室側から上戸車の向きを確認してください。

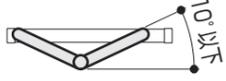


8. 障子の開閉確認をしてください。



• 補助的な調整のため、設置のくるいをカバーするものではありません。

1. 障子を10°以下に開いた状態にしてください。



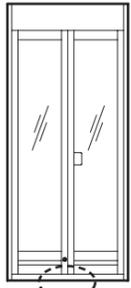
2. キャップをあげ調整ねじをゆるめてください。

3. 下部ラッチとレールのかかり代を調整してください。

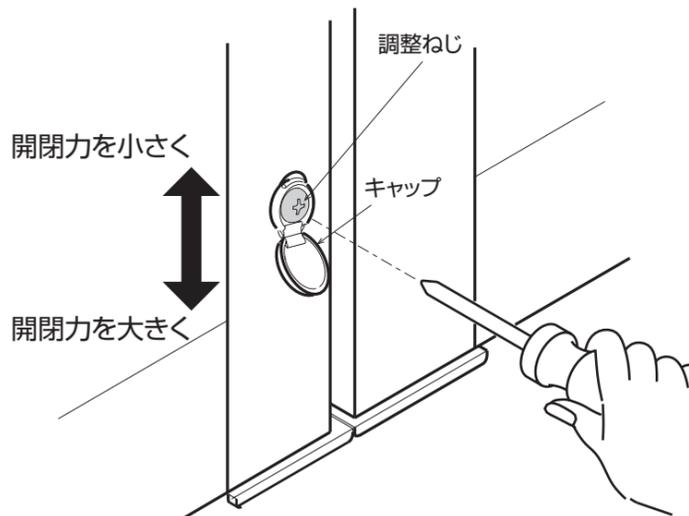


- レールとのかかり代が大きすぎると開閉が重くなります。開閉が重い場合は、再度調整してください。
- 障子を開いた状態で下部ラッチの調整を行ってください。

脱衣室側



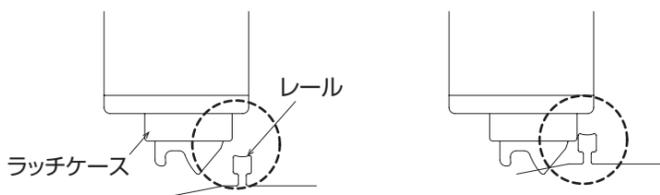
下部ラッチ



開閉が重い場合 ⇒ ねじ位置を上部へ

開閉が軽い場合 ⇒ ねじ位置を下部へ

4. 開閉に支障が出ないように、ラッチケースがレールに干渉しないことを確認してください。



5. ゆるめた調整ねじを締め付け、キャップを閉じてください。